

## 長野支部 <2025 年度事業計画>

### 【基本方針】

一般社団法人日本臨床発達心理士会の支部組織として、会員相互の連携による臨床発達心理士としての資質向上、発達心理学に基づく実践の充実を目指すとともに、職能団体としての体制作りを行う。

「発達の視点」から、被支援者および支援者自身の発達を支え、支援者同士の連携や職種を超えた協働を促すなど、臨床発達心理士としての専門性のスキルアップをはかる研修の場を、支部会員の主体的な企画と連携によって身近な地域の中に作っていく。これによって支部の支援力の向上を図る。

### 【今年度のテーマ】

会員の日常的な連携をはかり、会員相互の相談や SV を実現させ、他職種の視点を含む専門性の高い発達支援を支えるネットワークの基礎作りを進める。

### 【事業内容】

#### 1. 研修

- ① 資格更新ポイント取得可能な研修を年間1回企画実施する
  - ・ 今年度は支部総会後の研修会を資格更新ポイント取得研修の機会とする
  - ・ ハイブリッド方式等開催方法を適宜工夫し、研修機会を確保する
- ② 支部会員提案の研修の推進

会員の関心を投げかけて集まる勉強会やスーパーバイザーを交えた事例検討、実践上の相談を共に考える場づくり等を進める。

  - ・ 呼びかけや開催方法等は必要に応じて役員、事務局と相談
  - ・ 会場費等を支部予算から支出する
  - ・ 役員によるコーディネートや会員間の連絡ネットワークづくりを行う
  - ・ ポイント申請研修会とする場合は実施4カ月前に本部へ申請するため、早めに支部事務局に相談する
  - ・ 研修会参加費は、会員500円、非会員1000円を原則とする。
- ③ 他団体研修会について
  - ・ 研修情報の提供として、適宜研修案内を行う
  - ・ 「学校心理士会」との共催関係について

2023年度まで資格更新ポイント取得研修の機会を提供し合ってきた。日本臨床発達心理士会が法人となり、日本臨床発達心理士認定運営機構による資格更新研修の承認を得るため、手続きが大きく変わり、時間を要するようになった。学校心理士会は総会後に例年10月の研修企画を始めるため、臨床発達心理士会の承認手続きが間に合わない。また、承認基準についても、臨床発達心理士会が共催対象と同程度に企画に関与していることが求められ、学校心理士会が企画した研修会は臨床発達心理士の資格更新研修として承認を受けにくくなっている。以上の条件の変化により、今後、学校心理士会とは共催関係ではなく、他の団体と同様に研修機会として双方の企画研修会について情報を提供しあうこととしたい。
- ④ 第21回全国大会職能職域向上委員会企画ポスター発表「支部活動紹介」参加

## 2. 連携の場作り

### ① 多様な分野で活動する支部会員同士の交流と連携の促進

会員交流: 会員が広い県内に分散している支部の特性を踏まえた開催方法を工夫し、交流と連携を促す

### ② 会員や資格取得希望者へのスーパーバイズについて情報を提供していく

## 3. 外部への発信と協力

### ① 臨床発達心理士の理解と役割 支部ホームページによる発信

### ② 職業の安定と福祉向上 災害支援等とあわせて本部と連携しながら地域や外部からの要請に対応する

## 長野支部 2025 年度事業計画

事業	時期	会場等	内容等	数	主担当	備考
支部総会	5/17	勤労者福祉センター	総会及び資格更新研修会	1	旧役員会	
会員交流	7月	参集/オンライン 状況にあわせて	*ブロック単位で実施 *テーマを決めて行う	-	副支部長	各ブロック1回 計4回
会員提案企画	随時	地域会場 オンライン	会員提案による交流、相談、 実践検討、勉強会など		企画者 (役員)	4回見込
全国大会	8/23 -24	大宮ソニックシティ	各自参加	最大4		両日昼休みに情報交換
			職能職域向上委員会企画ポスター発表(両日)	-	発表者	
他団体研修等			案内を受けたものは、役員会で協議の上、 会員へ案内	-	(役員会)	学校心理士会、 他
外部への発信と協力	随時		*ホームページによる発信 *災害支援 犯罪被害者支援 司法関連 等		役員会 (担当組織)	ニーズに応じて